

第53回 憲法を考える映画の会

排除と差別の歴史、どうして「在日」の人たちに、
日本国憲法の「人権」が保障されないのでしょうか。

ニジノキセキ

「4.24」の未来へ、七色の架け橋――

2019年10月26日(土)
文京区民センター3A会議室
(地下鉄・春日駅/後楽園駅)

13時40分～15時

映画「ニジノキセキ」
(上映時間 80分)

15時10分～16時30分

トークシェア

参加費：一般1000円 学生・若者 500円

映画「ニジノキセキ―「4.24」の未来へ、
七色の架け橋―

在日コリアンが通う朝鮮学校のドキュメンタリー。
日本で生まれ育った在日コリアンが通う朝鮮学校
は近年、ヘイトスピーチや北朝鮮パッシングの的
になり、国や行政からも財政的圧迫を受ける対象
になるなど、取り巻く環境が厳しくなっている。

そんな現実には在日コリアンたちは何を思うか。
朝鮮学校の現役教師らに密着し、その胸中や朝鮮
学校の未来像にも迫っていく。
撮影には兵庫県下の朝鮮学校が全面協力し、メ
ディアでは公開されてない朝鮮学校の日常の姿を
映し出した。

また、朝鮮学校の歴史を語る上で欠くことのでき
ない、1948年に起こった「4.24 阪神教育闘争」
についても当事者などに取材して取り上げるなど、
朝鮮学校にまつわる過去、現在、そして未来を描
いていく。

2019年製作／80分／日本映画

出演者

金紗梨(キム・サリ)

1994年生まれ。現役教員。

幼いころから朝鮮学校に通いながら在日コリアンとし
てのアイデンティティを育む。

尼崎朝鮮初中級学校、神戸朝鮮高級学校、朝鮮大学
校・教育学部を卒業後、神戸朝鮮初中級学校にて教
鞭をとる。朝鮮舞蹈部を指導。

張鐵柱(チャン・チョルチュ)

2001年生まれ。神戸朝鮮高級学校3年生(2018年度
当時)。

西神戸朝鮮初級学校、神戸朝鮮初中級学校を卒業
後、神戸朝鮮高級学校に入学。高級部3年次には朝
高委員会・副委員長を務める。



映画監督 朴英二(パク・ヨンイ)

1975年生まれ。神奈川朝鮮中高級学校、朝鮮大学
校・政治経済学部哲学科卒業後、バンタン映画映像
学院にて映画を学ぶ。15年の歳月をかけ在日コリア
ン社会と朝鮮学校を撮影し続ける。また朝鮮民主主義
人民共和国を20回訪れ撮影を行い、世界に情報を配信
する活動を行っている。2016年ドキュメンタリー映画
「蒼のシンフォニー」公開。ダラスアジア映画祭、
DMZ国際ドキュメンタリー映画祭を始め、日本、韓国、
アメリカで上映。

憲法を考える映画の会

〒185-0024
東京都国分寺市泉町3-5-6-303
TEL:042-406-0502
ホームページ：
<http://kenpou-eiga.com>
E-mail: hanasaki33@me.com
Facebook: 憲法を考える映画の会